

「安全・安心シンクタンク運営ボード」の開催について

令和 5 年 1 0 月 3 1 日
科学技術・イノベーション推進事務局統括官決定

1. 目的

「安全・安心に関するシンクタンク機能」に関しては、第6期科学技術・イノベーション基本計画等において、「安全・安心に関する新たなシンクタンク機能の体制を構築し、今後の安全・安心に係る科学技術戦略や重点的に開発すべき重要技術等の政策提言を行う」こととされており、令和5年4月にとりまとめた「安全・安心に関するシンクタンクの基本設計」に基づいて本格的な設立準備を開始したところである。

具体的には、内閣府科学技術・イノベーション推進事務局内に担当室を設置し体制を整えるとともに、委託事業であるシンクタンク機能育成事業を通じて将来的にシンクタンクで担うべき調査・分析業務の基盤となる調査・分析手法の確立や人材育成、ネットワーク構築等を行うこととしている。

こうした設立準備作業について、進捗を確認するとともに、大所高所から必要な助言を与えることを目的に、「安全・安心シンクタンク運営ボード」（以下「運営ボード」という。）を開催する。

2. 構成員

- (1) 運営ボードの構成員は、別紙のとおりとする。
- (2) 運営ボードは、必要に応じ、関係者の出席を求めることができる。

3. 公開

- (1) 自由闊達な議論を促すため、運営ボードは原則として非公開とする。
- (2) 運営ボード終了後、資料及び議事要旨を公表する。ただし、座長が必要と認めるときは、非公表とすることができる。

4. 庶務

運営ボードの庶務は、内閣府において処理する。

5. その他

前各項に定めるもののほか、運営ボードの運営に関する事項その他の必要な事項は、座長が定める。

(別紙)

「安全・安心シンクタンク運営ボード」構成員名簿

(五十音順、敬称略)

岩間 陽子	国立大学法人政策研究大学院大学教授
上山 隆大	総合科学技術・イノベーション会議常勤議員 (座長)
金子 将史	政策シンクタンク P H P 総研代表・研究主幹
桑田 薫	国立大学法人東京工業大学理事・副学長 (ダイバーシティ推進担当)
白石 隆	公立大学法人熊本県立大学理事長
角南 篤	公益財団法人笹川平和財団理事長
西山 淳一	公益財団法人未来工学研究所研究参与
橋本 和仁	内閣官房科学技術顧問、国立研究開発法人科学技術振興機構理事長
松本 洋一郎	外務大臣科学技術顧問、国立大学法人東京大学名誉教授
三島 茂徳	前防衛装備庁防衛技監